



かながわの交通

2011
10

運転のマナーが光る 早めのライト

— 運転者(同乗者を含む)に対するもの —
 今年の交通安全年間スローガン優秀作(内閣府特命担当大臣賞)

困ります!
自転車置きざり
知らんぷり

通れない
 あぶない
 許せない!

自転車は駐輪場や決められた場所に置きましょう

第28回 駅前放置自転車
クリーンキャンペーン 10/1 ~ 10/31

神奈川県交通安全対策協議会 神奈川県・雪国町村・神奈川県警察
 首都圏放置自転車対策協議会

ハンドルキーパー運動推進中!

飲酒運転根絶!!
 今日のハンドルキーパーさんは?

◎県内の交通事故発生概況(9月末)

年別	区分	発生件数	死者数	傷者数
平成23年		28,510	119	34,062
平成22年		30,684	126	36,636
増減数		-2,174	-7	-2,574
増減率		-7.1	-5.6	-7.0

◎県人口・運転免許人口

	総数	男	女
県人口	9,029,996	4,543,159	4,486,837
免許人口	5,512,455	3,219,193	2,293,262
割合	1.6人に1人	1.4人に1人	2.0人に1人

(県人口は平成22年9月1日、免許人口は平成23年8月末)

首都圏放置自転車クリーンキャンペーン

趣旨

自転車・バイクの利用増大に伴い、駅周辺等は大量かつ無秩序に自転車等が放置され、これに起因して道路環境の悪化や交通事故、渋滞等が発生している現状にあることから、自転車等の放置を防止するため、関係機関・団体が相互に連携を密にし、放置自転車追放のためのキャンペーンを展開します。

期間

平成23年10月1日(土)から10月31日(月)までの1か月間

主唱

首都圏放置自転車クリーンキャンペーン神奈川県推進会議

スローガン

困ります！ 自転車置きざり 知らんぷり

交通安全協会の推進事項

・放置自転車・バイクク

着任挨拶

神奈川県警察本部

交通部長 永井 弘一



交通部長の永井でございます。この秋の人事異動により着任いたしました。

交通安全協会の皆様におかれましては、平素から交通安全活動はもとより、警察行政各般にわたり御支援、御協力を賜り、厚く御礼申し上げます。

さて、県内の交通事故発生状況につきましては、人身交通事故の発生件数及びお亡

りンキャンペーンとしてイベントなどを開催し、放置自転車追放気運の醸成を図る。

・本運動の周知を図るため、各種行事等を通じて積極的に広報活動を推進する。

・広報紙、ポスターなどを活用した広報を実施し、本運動を効果的に推進する。

・関係機関・団体と連携を密にして、違法駐車や放置自転車・バイクの追放運動を推進する。

様方との連携を二層強化し、県民の心に届く交通事故防止対策を推進する必要があります。

そこで、県警察では、交通違反の取り締まりを強化するとともに、交通ルールの遵守と、正しい交通マナーの実践が、交通事故を防止する上で重要な問題であることが実感できる施策を推進してまいります。

どうか、皆様におかれましては、今まで以上に地域、家庭における交通安全意識の普及、高揚にお力添えを賜りますようお願い申し上げます。

結びになりますが、交通安全協会のますますの御発展と会員の皆様の御健勝を心から祈念申し上げます。着任の挨拶とさせていただきます。

しかしながら、本年8月末現在、二輪車事故でお亡くなりになった方は、全死亡事故の三分の一と高い割合を占めており、また、例年、高齢者事故が年末に向けて増加する傾向があり、さらには、飲酒運転による事故も依然として後を絶たないことなどから、皆

平成23年度

関東管区警察局長

関東交通安全協会連合会会長

4団体、1事業所、31名が受賞

連名表彰

この表彰は、地域、職場等において交通安全活動を積極的に推進し、交通事故防止に功績のあったと認められる団体及び長年にわたり安全運転に努め無事故の優良運転者に対して行われるもので、本県では次の方々(団体)が受賞されました。おめでとうございませう。

交通安全功労団体

●新山下二丁目自治会・代表 程島正雄(加賀町)

●協同組合横浜マーチャнда イジングセンター・代表 上野達夫(金沢)

●米が浜町会・代表 織裳俊雄(横須賀)

●渡田三・四丁目町内会・代表 大友肇(川崎)

交通安全優良事業所

●すみれ交通有限会社代表 漆原孝(旭)

優良運転者

青木敏行(加賀町) 柏谷

政行(磯子) 松江清重

(磯子) 澤田隆(磯子)

恩田勉(神奈川) 酒井靖

行(港南) 上前裕志(港

南) 長岡和則(青葉)

今井春美(栄) 井柵照雄

(栄) 岡田互(泉) 石田

勝俊(川崎臨港) 新田栄

太郎(多摩) 成瀬圭二(横

須賀) 高橋孝行(横須賀)

鈴木和仁(葉山町)

岡本三善(逗子市) 吉住

泰子(逗子市) 長澤勝利

(逗子市) 中島敏博(鎌

倉) 服部俊正(藤沢北)

鈴木二彦(藤沢北) 井口寛

(茅ヶ崎) 吉川朋次(平塚

市) 佐藤哲男(小田原)

濱野刃之助(小田原) 柴

田義雄(小田原) 安達賢

二(伊勢原) 山口勝太郎

(厚木警察署管内) 佐藤

武久(大和綾瀬) 金子榮

(相模原)

(敬称略)

平成24年使用 「交通安全ポスターデザイン募集」

■主催…(財)全日本交通安全協会 毎日新聞社

■後援…内閣府、警察庁、法務省、文部科学省、厚生労働省、経済産業省、国土交通省、NHK

■協賛…JA共済連、(社)日本自動車工業会

●募集期間 平成23年11月下旬～平成24年1月31日(必着)

●募集部門 ☆一般部門A(運転者) B(歩行者・自転車) ☆子ども部門

●応募要領 ☆一般部門A、B

応募資格…一般及び学生(小・中学生も応募可)

作品サイズ…B2判(ヨコ51・5センチ×タテ72・8センチ)

★子ども部門 応募資格…小・中学生に限る

作品サイズ…B3判または四つ切り画用紙で縦、横自由

●応募方法

平成24年使用内閣総理大臣賞受賞スローガンを原文のまま入れる。ひらがなを漢字等に直した場

合や句読点、括弧などの付加は失格。信号機、標識・標示などは正しく書き入れる。車内の人物にはシートベルトを着用、自転車に乗った児童、幼児にはヘルメットを着用させること。レタリング、イラストレーション、写真のデザイン化も自由。パソコンを利用して描いたものも可。応募点数の制限はなく、共同作品でも可。自作、未発表のものに限る。応募票(部門、住所、氏名、生年月日、職業、電話番号、小中学生は学校名と所在地、電話番号、学年を併記。自作も可)。を作品の裏面に貼付。学校からの一括応募の場合は必ず学校の連絡先と応募者リストを添付する。

●送り先

〒100018051 東京都千代田区一ツ橋1の1の1 毎日新聞社事業本部「交通安全ポスター」係(TEL03-321310190)

●審査員

トピックス

受賞おめでとうございます

～関東管区警察局長感謝状 飯田百二氏(旭)に～

飯田百二氏は、平成6年5月に旭交通安全協会副会長、平成12年5月からは同協会会長を務められ、現在に至っています。また、平成13年5月に県交通安全協会理事、平成15年5月からは横浜市交通安全協会副会長を務められるなど、多年にわたり警察や行政と交通安全思想の普及啓発活動を積極的に推進され、地域における交通事故防止に優れた功労で7月26日(火)、警察本部長から関東管区警察局長感謝状を伝達されました。



●●●●● 手づくりの反射材で交通安全 ●●●●●

県交通安全協会職員柴田美香さんは、女性が身につけるリボンなどのヘアアクセサリに反射材を切り貼り細工して、女性のための「お洒落な交通安全グッズ」を考案しました。柴田さんは、「手軽にできるので、皆さんもオリジナル交通安全グッズを作って交通安全を実践してみませんか。」と呼びかけています。



お知らせ

2011「飲酒運転を根絶しよう!!」県民大会」in磯子

- とき…10月27日午後2時から午後4時30分まで。
- ところ…横浜市磯子区杉田1の1の1磯子区民文化センター(杉田劇場)
- 主催…神奈川県、市区町村、神奈川県警察、神奈川県交通安全対策協議会
- 主な参加者…県副知事、県警交通部長、横浜市長、県交通安全対策協議会委員等
- 大会次第…あいさつ、講演「落語・山極かおる(足柄交通安全協会会長、安藤薫氏)の「火焰太鼓」、リコーダー演奏、飲酒運転根絶宣言、「飲酒運転を根絶しよう!!」県民キャンペーン

タイムマシーンをあげたい ⑬

警察官から見た交通事故の回顧録
孤独になった母

高校教師を夢見て苦学の末、息子は、有名大学に入学を果たした。彼は、頑張り屋で明るく、気の優しい青年であった。

一年前に、一家の大黒柱であった父親を病気で亡くした後、母一人、子一人の生活で奨学金を貰い、体が弱く働くことのできない母に代わって毎日遅くまでアルバイトをして、家計を助けていた息子であった。

その母親思いの息子が、なんの因果か、飲食店でのアルバイトを終えた明け方、原付バイクで帰宅途中、後方から走ってきた乗用車に追突され、頭部を強打し脳死状態となってしまった。

そして、救命措置により心臓を動かし、万に一縷の望みをつないでいたものの、一カ月後、十九歳という若さでこの世を去った。

奇しくもこの日、一年前病氣

で亡くなった彼の父親の命日でもあった。神様は、なんと意地悪であろう。こんな善良な青年が、どうして命を落とさなければならぬのか。

母親にしてみれば、夫の死のショックからまだ立ち直っていない時期でもあり、苦しい毎日の中で、唯一の救いだった息子の存在を奪われてしまったのである。

病院の霊安室の前で、私は、一瞬、入室を戸惑った。それでも、意を決して入ってみると、異様な空気を感じ、息を呑んだ。

振り返った母親の形相は、まるで、この息子に交通事故死という運命を与えた神を恨む阿修羅のようであった。

息子を守るように、遺体には誰も触れさせようとしなかった。

それは、もうこれ以上、誰からも何も奪われたくないという母の強い思いに感じられ、私は、言葉を無くしてしまった。

＝賛助会員のご紹介＝

神奈川県交通安全協会は、「交通事故のない安全で安心な地域社会の実現」を目指し、さらなる公益性の高い交通安全事業を推進しています。

このコーナーでは、従前から賛助会員としてご協力をいただいている企業等を順次ご紹介しています。

川崎信用金庫	川崎市川崎区砂子2-11-1
(株)さいか屋	川崎市川崎区小川町1
(有)セイユウ企画	川崎市川崎区浅田2-17-8
関東自動車工業(株)	横須賀市田浦港町無番地
(株)久里浜中央会館	横須賀市久里浜5-13-1
横須賀新聞販売協同組合	横須賀市日の出町1-15
(有)栄モーター商会	横須賀市武1-20-10
(有)三愛自動車	横須賀市森崎1丁目14番17号
(有)サカエオート	横須賀市大矢部2-1-10

訂正

9月号掲載「賛助会員のご紹介欄」の「NECフロンティア(株)」は「NECインフロンティア(株)」の誤りでした。お詫びして訂正します。

県警からのお知らせ

駐車監視員活動地域等の変更

駐車監視員が違法駐車の確認事務(取り締まりの一部)を行う地域・道路(路線)などを定めた「ガイドライン」が8月1日から変更となっています。

県警察では、違法駐車への指導・取り締まりを継続します。車やバイクは駐車場等に止めましょう。

※ガイドラインは
<http://www.police.pref.kanagawa.jp/mes/mesf4039.htm>に掲載。

問い合わせ

県警察本部駐車対策課

Tel. 045 (211) 1212内線5282



チャレンジ講習等のご案内

チャレンジ講習とは、コースにおける自動車等の運転をすることにより、加齢に伴って生ずる身体機能の低下が自動車等の運転に著しい影響を及ぼしているかどうかについての確認を行う講習です。

この講習で、自動車等の運転に著しい影響を及ぼさないことが確認できた場合は、特定任意高齢者講習(簡易)を受講すると、高齢者講習が免除されます。(但し、失効の場合を除きます。)

受講の方法、要件

○免許証の有効期間が満了するときの年齢が70歳以上

○手数料

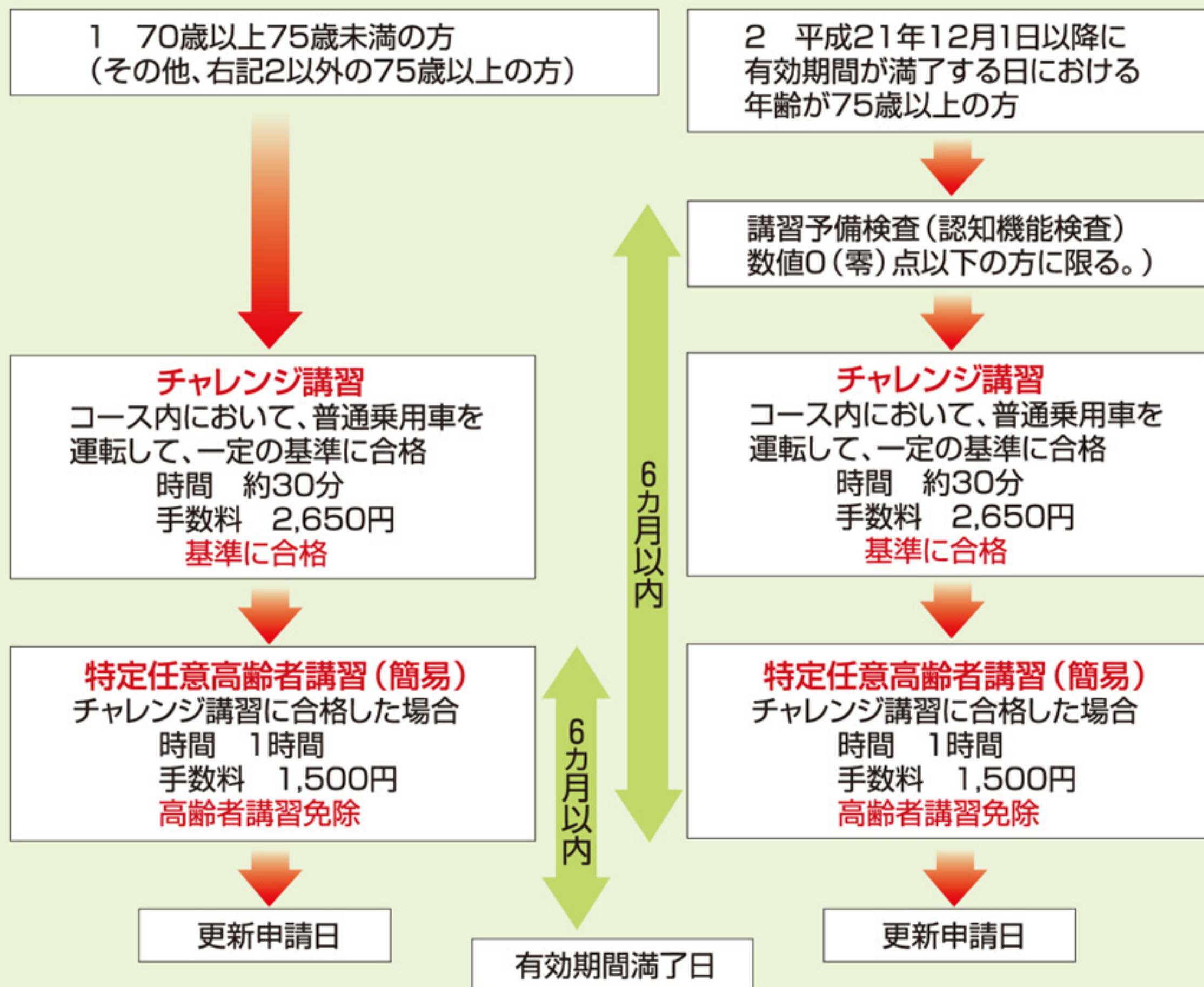
- ・チャレンジ講習(約30分のうち実技約10分) 2,650円
- ・特定任意高齢者講習(簡易)(1時間) 1,500円

○実施場所

県下の指定自動車教習所

※チャレンジ講習(任意講習)及び特定任意講習(簡易)を受講すると高齢者講習が免除されます。但し、チャレンジ講習において、安全運転ができると確認されない場合は、改めて高齢者講習を受けることとなります。

チャレンジ講習の流れ



※1の方については、有効期間満了日の1年前からチャレンジ講習の受講が可能です。但し、「チャレンジ講習受講結果確認書」交付の日から6カ月以内で、かつ、有効期間満了日前6カ月以内に特定任意高齢者講習(簡易)を受講する必要があります。



ハンドルキーパー運動の紹介

その204 磯子交通安全協会から

磯子交通安全協会(黒川順吉会長)では、区内の銀行員に対する交通安全講話の機会に、ハンドルキーパーポスターやチラシを配布し、飲酒交通事故の危険性を説明しながらハンドルキーパー運動の実践を呼びかけました。



その203 加賀町交通安全協会から

加賀町交通安全協会(杉島和三郎会長)では、新山下ベイサイドシティで、高齢者宅訪問による高齢者事故防止の呼びかけの機会に「ハンドルキーパー運動」を通じた飲酒運転事故防止の周知にも努めました。



その206 港南交通安全協会から

港南交通安全協会(高森政雄会長)では、京浜急行上大岡駅前交通安全キャンペーンを行い、ハンドルキーパーのぼり旗を掲出し、駅の乗降客などにチラシや啓発物を配布しながらハンドルキーパー運動の実践を呼びかけました。



その205 伊勢佐木交通安全協会から

伊勢佐木交通安全協会(小島弘之会長)では、JR桜木町駅前交通安全キャンペーンを行い、駅の乗降客などにチラシや啓発物を配布しながらハンドルキーパー運動の実践を呼びかけました。



その208 相模原南交通安全協会から

相模原南交通安全協会(丸塚幾男会長)では、小田急相模大野駅周辺道路を「飲酒運転追放」の横断幕を掲げ、パレードを行った後、道行く人にチラシや啓発物を配布しながら、ハンドルキーパー運動の実践による飲酒運転交通事故の防止を呼びかけました。



その207 逗子市交通安全協会から

逗子市交通安全協会(小林壽志会長)では、JR逗子駅前広場で、通行中のドライバーや乗降客にハンドルキーパーチラシや啓発物を配布しながら、ハンドルキーパー運動の実践による飲酒運転交通事故の防止を呼びかけました。





相模原南交通安全協会
会長 丸塚 幾男さん

相模原市は、昭和29年11月に神奈川県下11番目の市として誕生しました。その後、人口の急増に伴い8万人の人口が平成20年には63万人となり、全国一の人口急増都市としてあゆみ、平成21年に津久井4町との合併により平成22年4月神奈川県下3番目の政令指定都市となりました。

警察署も市内には、相模原警察署1署でしたが現在では4署となり、それぞれの区域（南区、中央区、緑区）を担当しており、当協会は、南区を担当することになりました。

ご案内のとおり、南区は、小田急電鉄の沿線に位置し、人口は市内で一番多く抱えており、相模大野駅を中心に大規模商業施設のほか、北里大学、相模女子大学、女子美術大学などの文教地区を形成するなど、南区の骨格を成しております。

今回は、今年の5月の総会において新しく会長に就任さ

れました丸塚幾男さんを紹介いたします。

丸塚さんは、長年にわたり自治会活動をされる傍ら当協会の筆頭副会長として手腕を発揮され、この間、地区住民のため交通問題はもろく取り組んでこられました。

中でも交通安全活動の推進に関する行政等との調整に当たっては、常に先頭に立ち、自ら進んでやってこられました。

丸塚さんは、義理に厚く困っている人がいると良き相談相手になり、横暴な人にはそれをいさめる、まさに「弱きを助け、強きをくじく」を地でいくような方です。

生まれは昭和の時代の面影を残す自然豊かな相模川に面した「新戸」であり、家族は10人兄弟の10番目とのこと。丸塚さんの性格は、そんな素朴な場所で生まれ、おおらかな環境で育まれたもので

あり、また多くの兄弟に生き方を学び、ご自分の考え方が養われたのだと思います。

現在74歳ですが、年齢を感じさせないバイタリテイがあり、今後もその行動力で当協会を引っ張っていつてくれるものと確信しております。

丸塚さんは、多発している自転車事故防止、特に無謀運転の多い高校生には「バイハイ作戦」で、高齢者、子ども達には「交通安全教室」の開催を通じて警察や市などの関係機関・団体と連携して、事故のない「安全で安心な南区」を目指していくと抱負を語っています。今後とも、健康に留意され相模原南交通安全協会の推進役としてご活躍を願っております。

（取材協力：相模原南交通安全協会）

インフォメーション

- 飲酒運転根絶月間(11月中)
- 自転車安全教育指導員講習会(11/4) 辻堂交通公園
- 自転車安全教育推進委員会(11/16) 県協会会館
- 二輪車安全運転推進委員会(11/16) 県協会会館
- 県交通安全功労者表彰式(11/25) 県立音楽堂

こんにちは
「瀬谷交通安全協会」です

横浜市の北西部に位置する瀬谷区は、古くは鎌倉郡瀬谷村が中心で、米・麦中心の農作地帯でしたが、横浜開港によって副業としての養蚕が盛んとなりました。また、瀬谷の街並みは大正15年の相模鉄道開通に伴う瀬谷駅の設置によりその後の発展が促進されました。更に近年になって県道横浜厚木線、県道丸子中山茅ヶ崎線などの主要道路網が整備され、マンションや住宅地が建設されるようになり人口も急激に増加し、今日の瀬谷が形成されました。

晴れた日には、丹沢山系や富士山が望め、樹林地など緑が多く残っている瀬谷区は市内でも恵まれた自然環境にあります。

瀬谷交通安全協会は昭和47年に設立され、間もなく40年を迎えようとしています。当協会の交通安全活動は、会長以下、多くの交通ボランティアの皆様と、関係機関・団体と連携を図り、年間運動として行われる各季の交通安全運動のほか、地域で行われる「瀬谷まつり」などに積極的に参加して広報・啓発活動を推進しています。また、小学生や高齢者を対象とした交通安全教室の開催や比較的交通事故の発生率が高い幹線道路における薄暮の交通監視活動などを通じて交通事故防止活動を展開しています。一方、私ども職員は、日々訪れる会員の皆様などに、協会業務が正しくご理解いただけるように



「交通安全ワンポイントアドバイス」などを交えながらの窓口業務を推進しております。

今後も、各地区交通安全協会の活動状況を参考にさせていただきながら、地域の皆様の交通安全に少しでもお役にたてるよう頑張っておりますので宜しくお願いします。

（水谷 記）

地区交通安全協会の活動紹介

～8.19(バイクの日)キャンペーン～



宮前 田園都市線「宮前平駅前」で、「二輪車事故多発」の職を掲出し、赤信号で停止した二輪ライダーに啓発物を配布しながら「二輪車事故防止を呼びかけました。」



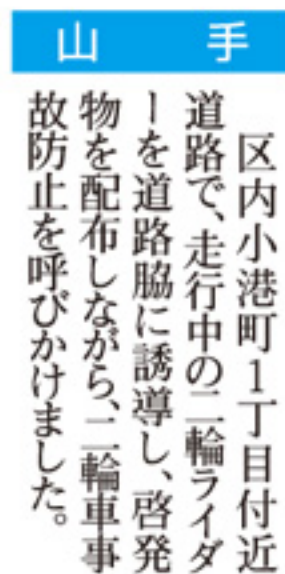
沢 江の島「聖天島公園」前で、警察官による「二輪車事故防止」「ワンポイント講習」を行い、啓発物を配布しながら「二輪車事故防止を呼びかけました。」



名 県道横浜厚木線の側道で、走行中の二輪ライダーを白バイ隊員が誘導し、「バイクの安全運転」などのチラシを配布しながら「二輪車事故防止を呼びかけました。」



原 市内バイクショップ前で「二輪車交通事故防止」の横断幕を掲出し、お店を訪れるライダーに、プロテクターやエアバッグベストの着用の有効性を体験してもらいました。



手 区内小港町1丁目付近道路で、走行中の二輪ライダーを道路脇に誘導し、啓発物を配布しながら「二輪車事故防止を呼びかけました。」

沢 金沢警察署前国道16号で、走行中の二輪ライダーを警察署前広場に誘導し、啓発物を配布しながら「二輪車事故防止を呼びかけました。」

見 国道15号鶴見市場交差点で、走行中の二輪ライダーを道路脇に誘導し、啓発物を配布しながら「二輪車事故防止を呼びかけました。」



あなたの会費が交通安全活動に役立っています

編集後記

神奈川県交通安全対策協議会の交通安全標語に「安全は心と時間のゆとりから」という標語がありますが、交通安全には欠かすことのできない標語になってきました。この標語は「愛と希望の21世紀への未来への発信」ということで平成12年に選ばれた標語であります。

私は、この標語が好きです。心にゆとりを持つとともに時間にゆとりがあることによって安心してハンドルの操作ができるものであって車で旅行する際にはサーブिसエリア等ゆとりある休憩時間を取るなどして運行計画を立てることが肝要で無事故につながるって行くものと思います。

「安心が安全を創って行く」ということを感じて欲しいと思います。交通安全標語の歴史を見ますと昭和40年代の交通戦争と言われた時代に少しでも事故を減少させようとしたのが始まりで、あの有名な「狭い日本そんなに急いでどこへ行く」という交通安全標語でありました。道路環境の良さや車の発達に伴って事故が多発したのは事実ですが、これから未来に向かつては「人優先」を再確認していかねばなりません。交通安全協会を中心とした交通外郭団体が警察や市町村と協力して築いてきた交通安全運動を今後も手を携えてその輪を広げて行きましょう。

(T・T)